

〔7月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

* 7月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、8月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学2年参考手本

幼・小学1年参考手本

小二
おのでらたかし

せみ

山合祥華先生

小一
せんごくひろと

たまき

北村白琉先生

小二
田中ゆいと

んでほ

恒次鶴城先生

小一
たなかゆり

こけ

広瀬舟雲先生

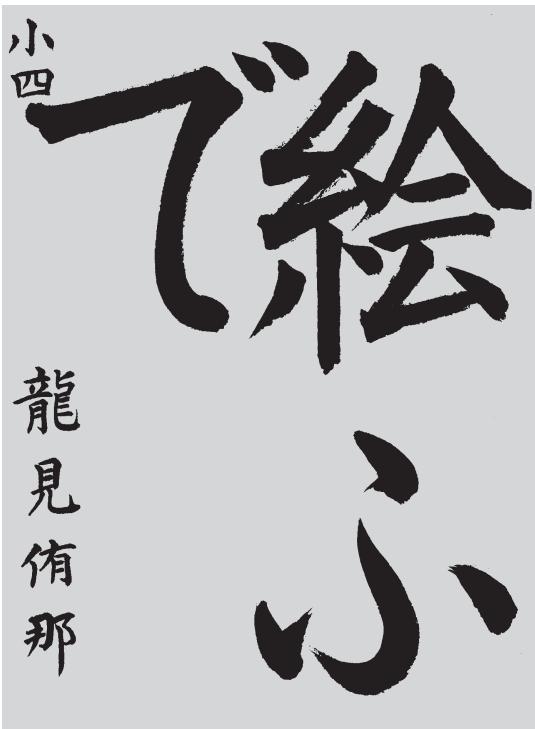
〔7月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

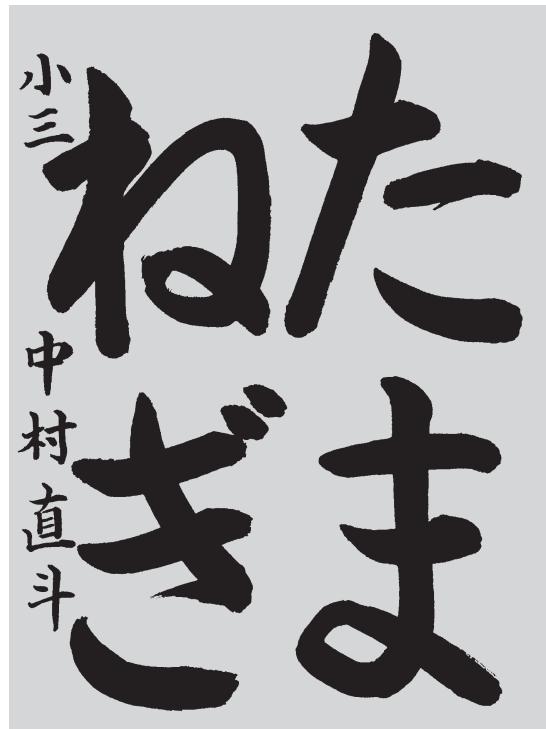
* 7月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、8月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学4年参考手本

小学3年参考手本



稻垣小燕先生



阿部蕙芳先生



尾形澄神先生



牧泰濤先生

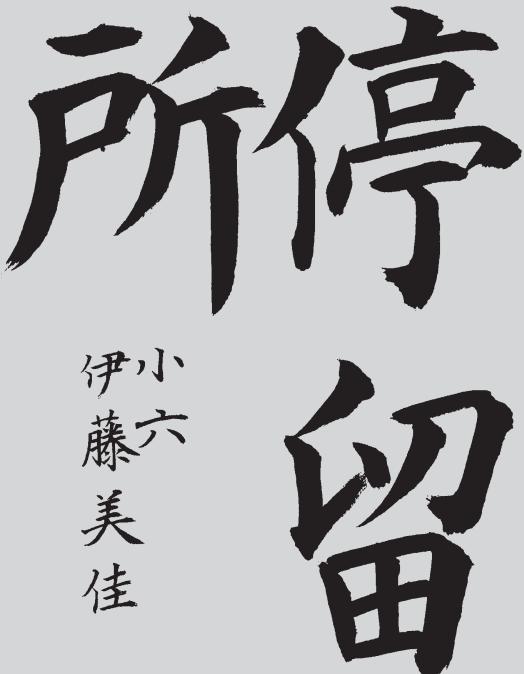
〔7月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

* 7月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、8月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学6年参考手本

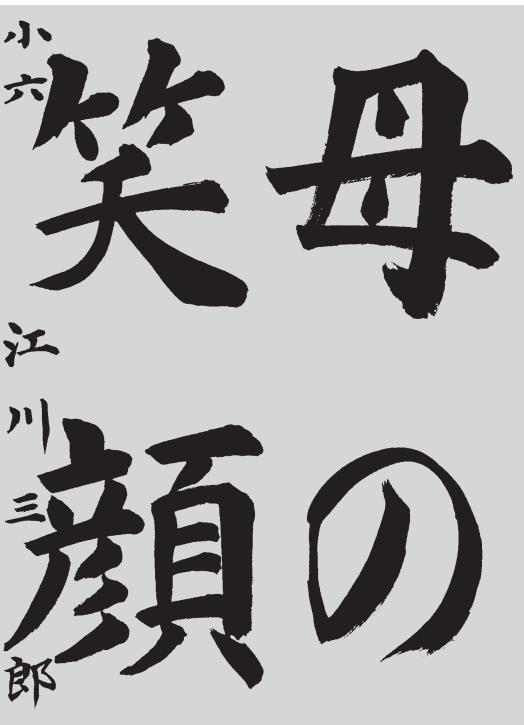
小学5年参考手本



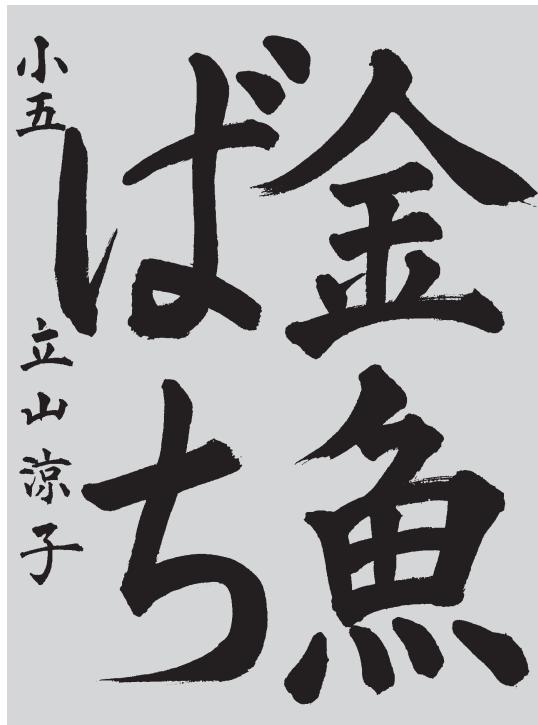
小伏小扇先生



依岡紫峰先生



辻元大雲先生



浜谷芳仙先生

〔7月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

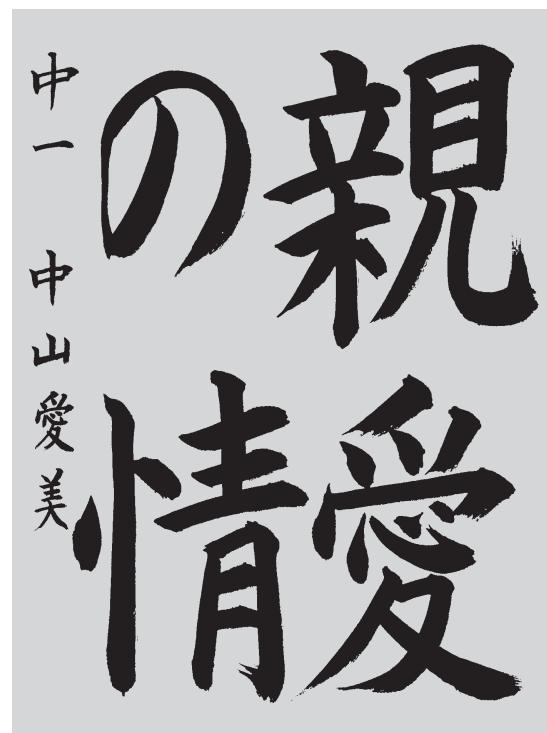
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

* 7月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、8月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

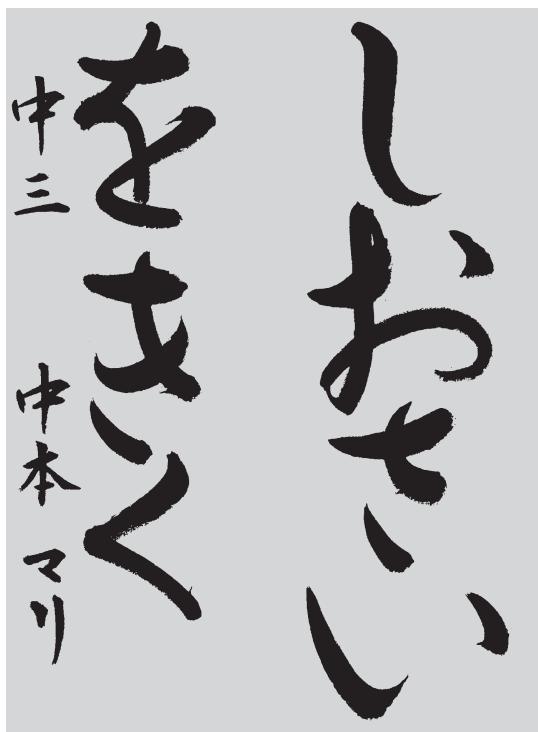
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



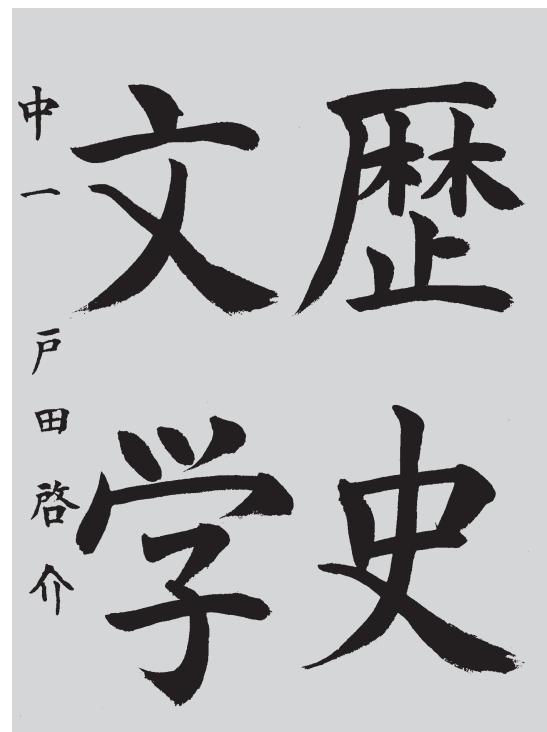
小林琴水先生



飯高和子先生



下谷洋子先生



恩地春洋先生

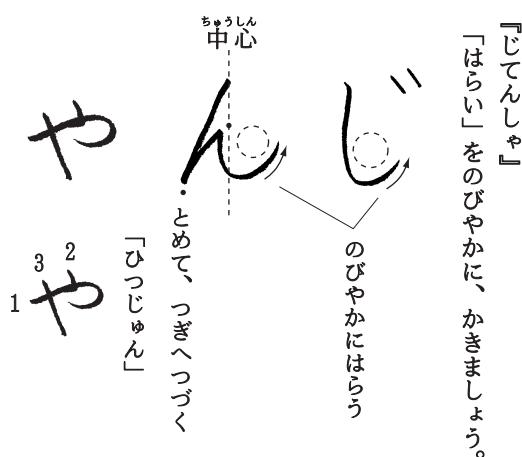
硬筆参考手本

筆者 解説 恩地 春洋 先生

[7月10日締切課題]

幼・小学 1年

支部名	
だん・きゅう	
がくねん	
一 なまえ	
みづのはるか	



- ◎各学年に「学習のめあて」をつけました。
「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。
 - ◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用してよろしい。
 - ◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。
 - ◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。
 - ◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。
 - ◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。
 - ◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。
- ※「7月10日締切課題」用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙を「POP」にて使用してください。
※7月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、8月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。(毛筆も同じ)

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小 学 3 年

小 学 2 年

支 部 名				
段・級				
学 年				
名 前	三			
井 部 友 裕	く す の に 役 立 ち ま す。	ほ ご 色 は 、 身 を か		

支 部 名				
段・級				
学 年				
名 前	二			
斎 藤 慈	中 で お よ ぎ ま し た 。	朝 の つ め た い 水 の		



「ほご 色」
「身」を正しく、つりあいよく書きましょう。

「はらい」の方向にちゅうい。

おわりの画「ノ」の長さ
でつりあいをとる。

（ひつじゅん）
ノクタク名多色



左はらい
はねる
よこができる
たてができる
たてかくにつけない。

右はらい
はらう
とめる
線と線の間かくをととのえて書きましょう。

「朝」の字形を、とのえて書きましょう。

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学5年

小学4年

支部名	人	路	黃	
段・級	目	標	色	
学年	に	識	と	
五	つ	は	黒	
名前	く	、	で	
佐々木	効	は	か	
	果	つ	い	
萌	が	き	た	
	ある。	り	道	

支部名	い	メ	皮	
段・級	線	ラ	ふ	
学年	に	ニ	の	
四	当	ン	中	
名前	た	は	の	
上村	る	、	黒	
亘亮	と	強	い	
	ふ	い	色	
	え	し	素	
	る。	が		



言「こんべん」の字形に注意
のびやかにはらう
少しそり



とめる
はらう



口 「よこ」が出る
「たて」が出る

『道路標識』
漢字とかなをつりあいよく書きましょう。

— 6 —



平行に
四画目を長く書く



「里」と「」の組み立てに
気をつけましょう。
とくに「」(れっか)の
方向に注意。



そろえる
筆順
ノ フ ナ ハ 皮
皮

『色が黒くなるわけ』
漢字の外形をみて正しくとのえましょう。

〔7月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支部名	
段・級	
学年	
中一	
名前	今井 裕文

温故知新（おんこちしん）

古いことを研究することによって、新しい知識や道理を発見する。

究 研 新 知

『温故知新』
漢字を少し大きめに書きましょう。
〈簡単な行書〉

- 一・二画をつづける
最終画の方向に注意
- 八・九画
十・十一画
終画は「とめる」
- 四・五画つづける
八画は「はらい」→「とめる」
九画も「はらい」→「とめる」
- 二・三画をつづける
五画目「こ」を「こ」
- 終画は「とめる」

支部名	
段・級	
学年	六
名前	須田 玲奈

最。

「日」を偏平に
（筆順に注意）
一画目大きくそる

独。

（「き」（けものへん）の筆順）
ノ イ オ
二画目大きくそる

俳。

（「非」の筆順）
は ら う ノ ブ ヨ ハ ニ ハ ニ
とめる い ま す い ま す い ま す

『俳句』
「へん」と「ひくり」をつりあいよく
書きましょう。

3年	糸	シ いと	く 畚 約 糸 糸 糸
	絵	カイ エ	く 畚 糸 約 絵 絵
4年	明	メイ ミョウ あ・かり あか・るい あか・るむ あか・らむ あき・らか あ・ける あ・く あ・くる あ・かす	日 明 明
5年	持	ジ も・つ	一 才 扌 持 持
	魚	ギョ うお さかな	ク 亾 𠂔 鱼 魚 魚
	停	ティ	彳 亻 亻 亻 停 停
6年	留	リュウ ル と・める と・まる	亯 亾 亯 曽 留 留
	笑	ショウ わら・う え・む	ト フ 竹 竹 竹 笑 笑
	愛	アイ	一 ハ 忄 愛 愛 愛
中学	歴	レキ	厂 庠 麻 麻 麻 麻 麻 歷
	波	ハ なみ	氵 汐 汐 汐 波 波
	際	サイ きわ	阝 𩫓 𩫓 𩫓 𩫓 際 際

行 書 を 学 ぼ う (155)

(中学生の課題より、恩地春洋先生書)



ひらがなの字源 (155)

									源字	字形
く	き	を	い	さ	お	し	之	そ	そ	そ
久	幾	遠	以	左	於	之	ぞ	お	お	お
久	矣	キ	レ	モ	お	シ	モ	お	お	お
く	矣	キ	リ	モ	お	シ	モ	お	お	お

* 源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

漢字に親しもう

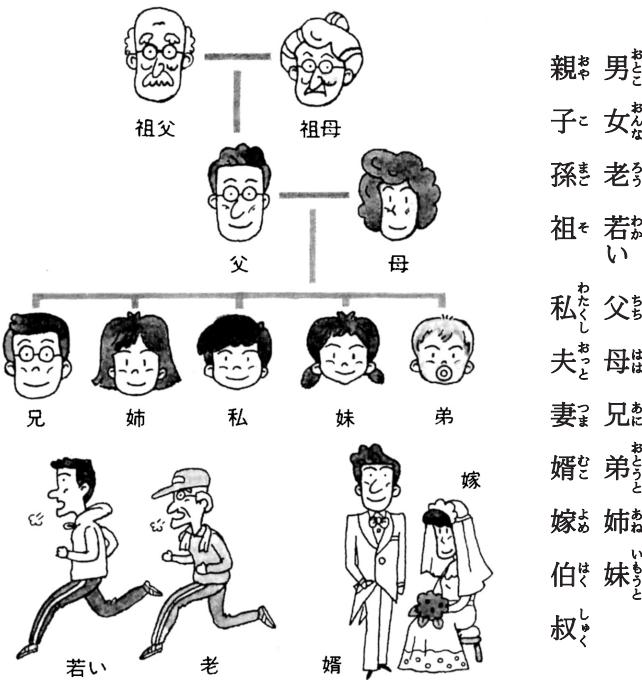
(4)

世界文化大百科全書

七月号六年生の毛筆課題「母の笑顔」から「母」という漢字にスポットを当てて、家族・人間に関係のある漢字を仲間で覚えよう。

漢字をなままでおぼえよう

家族・人間に関係ある漢字



母音 (ばいん)・母校 (ぼこう)・母音 (ばいん)・母船 (ぼねん)・母體 (ぼたい)・母國 (ぼくこく)・母性 (ぼせい)
母母 (ぼぼ)・義母 (ぎぼ)・異母 (いもふ)・母親 (ぼおや)・母屋 (ぼや)・母家 (ぼけ)

母

ボ・はは
○はは。女おや。
○ものごとのものになるもの。

○四年に一度のサッカー最大のイベント、ワールドカップ南アフリカ大会(W杯)がまもなく開催されます。日本代表メンバーも発表され、テンションも上がってきました。

私

○自分。自分だけに関係のあること。
○ひそかに。
シ・わたくし
シ・おや・した・しい。
した・しむ
○おや。○みうち。
○したい。した・しむ。
○自分でする。

私案・私営・私学・私語・私財・私事 (じじきこと)・私情・私物・私利・私立 (わりつけりこ)・私書箱・私道・公私・無私

親

○親愛 (しんあい)・親交 (しんこう)・親書 (しんしょ)・親切 (しんせつ)・親善 (しんぜん)・親展 (しんてん)・親友 (しんゆう)・親類 (しんるい)・肉親 (にくおや)・親心 (しんじん)・親孝行 (しんこうぎょう)・親譲り (しんとうり)・女親 (めおや)・父親 (ちちや)・母親 (めめや)

○先日、我が家のかな庭でプランターの田植えを行いました。知人宅の庭先で田んぼを発見し、「これいいね!」と言ったのがきっかけです。昨年初めて田植えをやりましたが上手く育ちませんでした。一ヵ所にたくさん植えすぎたのが原因のようです。

○田んぼの風景と言えば、学生時代に東京に下宿して月に一度家に帰ってくる時、車窓から見える緑のジユータン。一ヶ月毎にその様子が変わっていくのが解ります。都会の緑は排ガス等で何かくすんでいますが、あの鮮やかなサヤサヤとした緑のジユータンは、大好きな日本の風景です。